事業番号	15　09　16

事業改善シート（27年度実施事業分）

□予算要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事業名	全日本中学校陸上競技選手権大会長野県大会出場選手強化事業費	担当課	部局	教育委員会事務局
総合5か年計画	プロジェクト		課・室	スポーツ課
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 3 豊かな心と健やかな身体の育成	E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp
			実施期間	H27　～　H27

1 事業の概要

目指す姿

学校教育の一環として行われる全日本中学校陸上競技選手権大会が、平成28年度に本県で初開催されるにあたり、中学校強化指定選手における強化合宿の充実を図り、全日本中学校体育大会での競技結果の向上、さらには、国体等でも活躍できる選手の育成を目指す。
また、その結果として県民のスポーツに対する関心がより高まることを目指す。

現状（予算編成時）

○本県における陸上競技は、全国高校駅伝や都道府県対抗駅伝の好成績により、駅伝を中心に県民にとって関心の高いスポーツになってきている。また、近年の日本陸上競技選手権大会において、本県出身の選手が複数種目で優勝するなど、駅伝だけではなく、多種目においても競技力の向上が図られてきている。
○全国中学校体育大会北信越ブロック開催において、陸上競技の中学校全国大会が本県で初めて開催されるにあたり、さらなる競技力向上に向けた取組の強化を図る絶好の機会である。

県が関与する理由

県関与の必要性あり
県民との協働による実施：実施は困難

【左記の説明、根拠法令等】
スポーツ基本法

成果目標・事業内容

① 成果目標（H27）

平成28年度全日本中学校陸上競技選手権長野県大会において参加者数及び入賞数の増加を目指し、平成27年度における成果目標を以下の2点におく。
○全日本中学校陸上競技選手権長野県大会強化合宿 兼 石川県強化記録会参加合宿への参加選手数 50名
○平成27年度第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会における入賞者（1位～8位）数　のべ5種目

② 事業内容　（単位：千円）

項目	実施方法	H27事業実績	H27（当初）	H27（決算）	H28（当初）
強化合宿の共催負担金	負担金	全日本中学校陸上競技選手権長野県大会強化合宿兼 石川県強化記録会参加合宿 （負担先：長野県陸上競技連盟普及強化委員会）	0	800	－
		合計	0	800	－

事業コスト

区分（単位：千円）		25年度	26年度	27年度	28年度
予算額	前年度繰越				
	当初予算			0	0
	補正予算			800	
	合計（A）	0	0	800	0
Aの財源	一般財源				
	県　債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	800	0
決　算　額（B）				800	
概算人件費	職員数（人）			2.00	
	概算人件費（C）	0	0	16,552	0
概算事業費（B(A)+C）		0	0	17,352	0

成果目標の達成状況

項目	H26末（実績）	H27 目標	H27 成果	H27 達成状況	H28 目標
強化合宿参加選手数	－	50名	30名	未達成	－
Jr.ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ入賞数	5種目	5種目	2種目	未達成	－

目標に対する成果の状況

トラックシーズンの終盤であったため故障選手があったり、ながの駅伝と期日が重なり長距離選手の参加がなかったりしたため、参加選手数は目標に達成しなかった。また、ジュニアオリンピックの入賞数も目標に達しなかった。
しかし、帯同したコーチやスタッフからは、他県の競技場によるエントリー数およそ1300名を超える大規模大会への経験が、コンディショニングをはじめ競技に向かう姿勢の変化が垣間見れたという報告や、ジュニアオリンピックでは、女子リレーチームが予選・準決勝・決勝の全てのレースで従来の県中学記録を上回り、初入賞を果たす等、チーム全体の底上げを図ることができた。

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか

■ 事業を実施しない　□ 事業を見直して実施　□ 事業を現行どおり実施

本県松本市で開催される平成28年度全国中学校体育大会が、本事業の成果となり表れることが望まれる中、前年度の同大会が3年ぶりに本県選手の入賞者が0（ゼロ）という厳しい状況であることは変わりない。
県民に元気を与えるスポーツ振興においては、ジュニア期の選手の育成が喫緊の課題であり、本事業の趣旨を踏まえた代替となる事業が実施されることが望まれる。